

令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

1. 事務事業の概要

完了 評価対象 行計対象

事務事業名 (中事業)	29412 農業インターンシップ支援事業			
基本政策	04 地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち			
政策	02 農林業の基盤を強化する			
施策	01 農業の担い手を育成します			
実施形態	直営			
事業期間	単年度			
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	なし			
法令名 条項				
予算科目	01-060103-030900			
部名	26 産業活力再生部	課名	01 農林振興課	
課長名	村井 昌徳	T E L	22-3111	内線 2030

2. 対象・目的・内容

事業概要	就農を希望する学生等の若者を対象に、市内農家でインターンとして農業を体験する機会を提供し、本市農業への関心を高めていくことで、将来的な就農者の確保につなげていく。
事業の対象 (誰・何を)	農業体験を受け入れる農家、インターンシップ希望学生
事業の目的 (どういう状態にするために)	就農を希望する若者が市内の農家で農業体験することで、将来西脇市で就農する者を増やすことを目的とする。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	農業体験受入農家に報償費を支払う。年間5名程度を予定。事業案内のチラシを作成し、インターンシップ参加希望者を募集する。

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成30年度決算額	483	0	0	0	0	0	483	
平成31年度決算額	136	0	0	0	0	0	136	
令和02年度決算額	248	0	0	0	0	0	248	
令和03年度予算額	385	0	0	0	0	385	0	

4. 総コストの概算

(単位：千円)

令和2年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	令和2年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.01	0.00	0.01	78	248	326
事業費の主な用途					

令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名	インターンシップの受講生募集回数			単 位	回
	説 明 や 数 式	農大・農業系高校への説明会の回数				
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	目 標 値		4	4		
	実 績 値	3	4			
	経 費 (千 円)	136	326			
単 位 当 た り の コ ス ト	45.33	81.5				
活動 指標 ②	指 標 名				単 位	
	説 明 や 数 式					
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	目 標 値					
	実 績 値					
	経 費 (千 円)					
単 位 当 た り の コ ス ト						
成 果 指 標 ①	指 標 名	インターンシップ受講生			単 位	人
	説 明 や 数 式	インターンシップを受講した人数				
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	目 標 値		5	5		
	実 績 値	1	7			
	経 費 (千 円)	136	326			
単 位 当 た り の コ ス ト	136	46.57				
成 果 指 標 ②	指 標 名				単 位	
	説 明 や 数 式					
	年 度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	目 標 値					
	実 績 値					
	経 費 (千 円)					
単 位 当 た り の コ ス ト						
実 績 ・ 成 果 等 の 説 明						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
	事 業 の 総 合 評 価	直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	4
	説 明	継続実施 学生や社会人、また受入れ農家からも事業継続のニーズがあり、本事業を通じて市内で就農する者もあることから、引き続きの事業実施が望ましい。					
2 次 評 価	評 価 ポ イ ン ト	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	3
	事 業 の 総 合 評 価	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	4
	説 明	継続実施 就農希望者に加え、新たな担い手の確保を望む農業体験の受入農家からも事業実施のニーズがある。また、本事業で農業体験をした者が西脇市内で4名就農しており、事業効果につながられている。現在はイチゴ農家及び畜産農家での農業体験を実施しているが、学生からの要望があれば他の作物への拡充を検討するなど柔軟な事業展開を計画している。同様の事業を自治体で行っている事例は県内で他に2団体と少ないが、西脇市ならではの取組を進め、将来にわたり就農者を確保するために継続実施が望ましい。					